

## みかづき子ども食堂



NPO 法人ワーカーズどんぐりは、自立支援サービス、介護保険サービス、「テンミリオンハウス<sup>(\*)</sup>・くるみの木」の運営やグループ保育事業など様々な事業を行うほか、独自事業として学習支援を行う「どんぐり塾」、さらに地域活動の「みかづき子ども食堂」を実施しています。<sup>(\*)</sup> 市民による地域福祉の共助提案に対して、武蔵野市が年間 1,000 万円を上限に運営費を補助する事業。

「みかづき子ども食堂」は、「テンミリオンハウス・くるみの木」のお隣の民家の 1 階部分をお借りし、今年 6 月から毎月第 1 水曜日にオープンしています。ワーカーズどんぐりのメンバーが運営し、サポートスタッフと寄付や食材の提供等行うボランティアが活動を支援しています。参加費は大人 300 円、子どもは無料で、運営費は子ども食堂の参加費と寄付で賄われています。



7 月 6 日のテーマは「七夕まつり」。笹の葉に思い思いに願いごとを書いて飾ります。7 種類の具材を使

## NPO 法人ワーカーズどんぐり

った七夕ごはん、そうめんとおくらを天の川に見立てたお吸い物をいただき、七夕気分が盛り上がったところでデザートにはフルーツゼリーと、子どもたちも大満足のメニューです。地域の方々からの支援もあり、近隣の農家の方からの差し入れのプラムもテーブルに並びました。食事をしながらのちょっとしたおしゃべりに心が和みます。

もともと「どんぐり塾」の活動を通じて武蔵野市とは情報交換していたこともあり、民生委員や民生児童委員、子ども家庭支援センター等を通じて必要な子どもに情報が届くよう工夫しています。

格差の拡大と貧困の連鎖という社会的な課題に対して、一人ひとりができることは限られていますが、

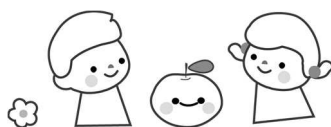


オーナー(右から 2 番目)を囲んで

子ども食堂など地域の活動をつないだセイフティーネットを張り巡らせ、支えあい、だれもが安心して暮らせるまちを創っていきたくですね。(インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子)

**NPO 法人ワーカーズどんぐり**  
〒180-0006 武蔵野市中町 3-11-13-101  
TEL/0422-53-3940 FAX/0422-53-3930

★お申込み・お問い合わせ先 TEL: 03-5426-5207  
メール: info@inclusive-gr.com



## インフォメーション

### ①【子育て支援共育講座】発達障がいの子どもにどう寄り添うか

講師：石川憲彦さん(児童精神科・小児科医・林試の森クリニック院長)  
日時：10月1日(土) 15:00~17:00  
会場：生活クラブ館(世田谷区宮坂 3-13-13) 参加費：500 円

### ②【子育て支援フォーラム 2016】貧困とひとりぼっちのないまちに~あなたと私にできること

講師：山野一さん(名寄市立大学保健福祉学部教授、「なくそう!子どもの貧困」全国ネットワーク世話人)  
日時：11月6日(日) 13:30~15:30  
会場：生活クラブ館(世田谷区宮坂 3-13-13) 参加費：500 円

### ③【2016 福祉ツアー】居場所づくりを見て学ぶ

日時：11月28日(月) 10:30~16:00  
見学先：いっちゃん家(府中市)、やぼろじ(国立市)、かぶえカサムシカ(国立市)  
参加費：無料  
＜主催①②③：生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合＞



やぼろじ

### ④【縁がわフォーラム】あなたのまちに「ほっとスペースをつくらう！」

居場所づくりのヒントがいっぱい!

講師：延藤 安弘 さん(NPO 法人まちの縁側育み隊 代表理事)  
日時：10月29日(土) 14:00~16:30 会場：生活クラブ館(世田谷区宮坂 3-13-13) 参加費：無料  
主催：ワーカーズまちの縁がわ東京準備会 共催：生活クラブ生協・生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合

## ともに働き、ともに生きる社会をつくる

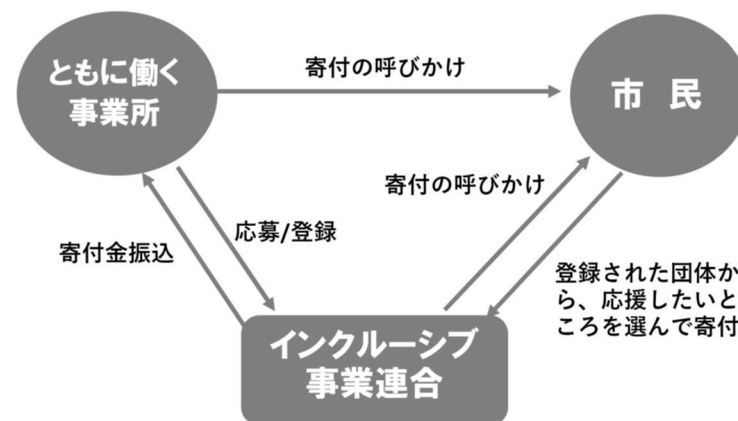
インクルーシブ事業連合では、誰もが排除されず、共同体の一員として存在と尊厳を認め合いながら「あたりまえ」にはたらき、地域社会に参加し生活できる豊かな地域社会をつくるため、「ともに働く」場を地域に増やしていくことを目指しています。生活クラブ運動グループの中にも、就労に困難を抱える人(例えば、障がい者、子育て中の女性、高齢者、引きこもっていた若者など)と、

ともに働くことを実践する事業所があります。しかし、福祉制度の枠にとらわれない取り組みは公的な補助金の対象とはならず、事業の継続に困難も生じています。そこで、インクルーシブ事業連合ではともに働くことに取り組む事業者に対するサポートのしくみを検討し、今年度は事業所指定寄付と仕事の切り出し調査の 2 つの活動をすすめることとしました。

### ともに働く応援団(事業所指定寄付)

インクルーシブ事業連合では、年 2 回行っているインクルファンドのスポット寄付のひとつとして、ともに働く事業に取り組んでいる団体やこれから取り組みを予定している団体への寄付を募ります。

- 寄付を受けたい事業所はインクルーシブ事業連合に応募用紙を提出してください。(地域協議会またはインクルーシブ事業連合に参加している団体でメンバーにインクルーシブ事業連合のサポーターがいることが条件です。)
- インクルーシブ事業連合では、運営委員会で承認後、インクルファンド募集ニュースやホームページなどで寄付を募ります。
- 寄付する人は応援したい事業所を選び、1 口 500 円(何口でも)を寄付します。
- 寄付はインクルーシブ事業連合を通じて各事業者に振り込まれます。



★寄付を募集したい団体は、9月9日までにインクルーシブ事業連合までご連絡下さい。  
★寄付の募集は 10 月 24 日から始まります。  
Tel: 03-5426-5207 担当: 平岡・稲宮  
メール: info@inclusive-gr.com

事業所指定寄付 スケジュール	
2016 年 7/1~9/9	応募団体募集期間
2016 年 9/23	寄付募集团体の承認
2016 年 10/24~ 2017 年 2/28	寄付募集期間 当該団体と一緒に寄付の呼びかけ(インクルファンドニュース、HP 等で呼びかけ)
3 月中旬	各団体へ寄付金振込み



ともに働く事業を実践する、NPO 法人コンチェルティーノのみなさん

### 仕事の切り出し調査

- 生活クラブ運動グループの中で、それぞれが仕事の切り出しを行い、集約した情報を運動グループ内で共有し、必要に応じてマッチングしていくことなどを検討していきます。
- 仕事の切り出しとは、日常業務を細分化して、就労に困難を抱える人が従事可能な「仕事」を明確にすることを指します。判断基準として

は、「必ずしも特定の人に従事することを要しない、分業が可能な業務」「日常的・定期的に発生する業務」「納期が切迫していない、または高い緊急性を要しない業務」などが挙げられます。  
●9 月末まで各団体で調査を行い、10 月に調査結果をまとめ、運動グループ全体で情報共有し、実践につなげます。